

Femtetソフトウェアライセンス 運用マニュアル

ムラタソフトウェア株式会社

改訂日 2023/6/5

1. ソフトウェアライセンスの利用形態
 2. ライセンスのインストール
 3. Femtetのインストール
 4. ライセンス参照設定（サーバー利用の場合）
 5. ライセンス認証の確認
 6. その他設定
 7. トラブルシューティング
- 付録：サポート対象のPCプラットフォーム

1. ソフトウェアライセンスの利用方法

Femtetのソフトウェアライセンスの利用方法には大きく分けて2パターンあります。

1. ノードロック利用

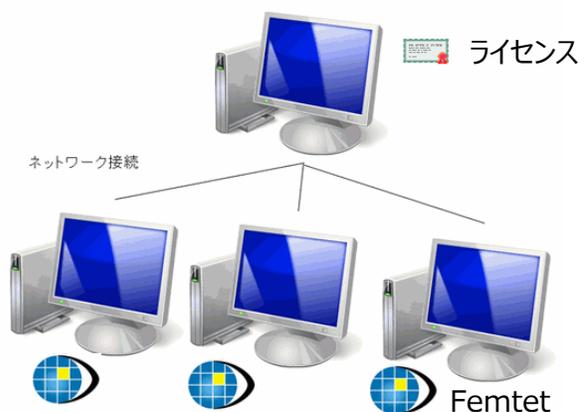
一台のPCにライセンスとFemtetの両方をインストールして使用する。

2. サーバ利用

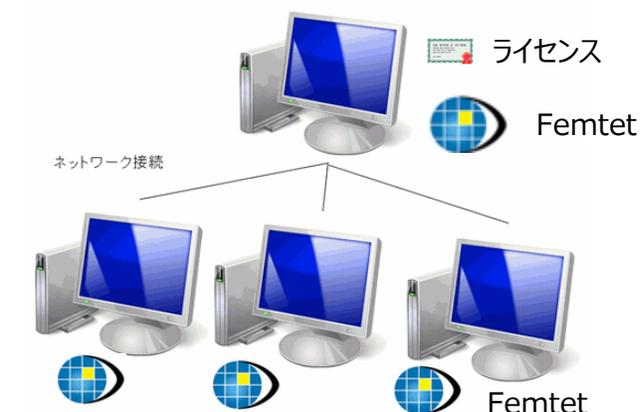
一台のPCにはライセンスをインストールし、別のPCにFemtetをインストールして利用する。



1. ノードロック利用



2. サーバ利用



ノードロック利用とサーバ利用の混在

(参考1) 同時に起動できるFemtetの本数をご契約のライセンス本数となります。

(参考2) いずれの場合もFemtetをインストールしたPCへのリモートデスクトップ利用が可能です。

(参考3) ノードロック利用とサーバー利用を混在させることも可能です。

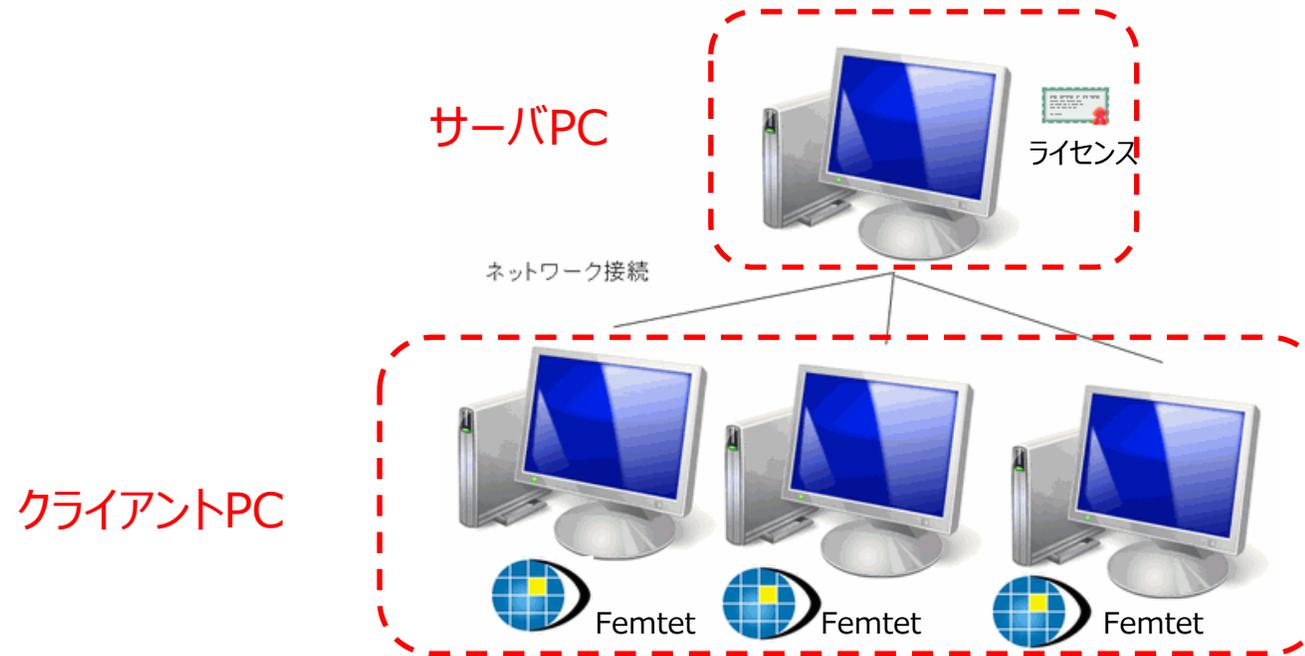
1. ソフトウェアライセンスの利用方法

本マニュアルでは、

ソフトウェアライセンスのサーバ利用状態において

ライセンスをインストールするPC → サーバPC
FemtetをインストールするPC → クライアントPC

と呼びます。



1. ソフトウェアライセンスの利用方法

Femtetをソフトウェアライセンスで利用する場合、以下の作業が必要となります。

大項目	小項目	ノードロック利用の場合	サーバー利用の場合
ライセンスのインストール	ライセンス更新ツール (Rustool) のインストール	Femtetを利用するPCにインストール	サーバーPCにインストール
	C2Vファイルを取得し ムラタソフトウェアへ送付	RustoolのCollect Status Informationを実行	
	ムラタソフトウェアから届いたV2C ファイルを適用	RustoolのApply License Fileを実行	
Femtetのインストール	ムラタソフトウェアからインストーラー ダウンロードURLとIDとパスワードが メールで届きます	ライセンスをインストールしたPCに Femtetをインストール	クライアントPCにFemtetをイン ストール
ライセンス 参照設定	サーバー利用の場合のみ設定が 必要		クライアントPCからサーバーPCの ライセンスを参照設定
ライセンスの期 限の確認		Femtetを起動してライセンス有効期限を確認する	

RUS:Remote Update System

C2V: Customer to Vender
V2C: Vendor to Customer

Rustoolとはライセンスのインストールや更新（期限延長）のために使用されるツールです。

まずは、ムラタソフトウェアのホームページ（ <https://www.muratasoftware.com/support/download/> ）からRustoolのインストーラーをダウンロードし、ライセンスをインストールしたいPCにインストールしてください。

1. Rustoolインストーラーのダウンロード

[ユーザサポート]→[ダウンロード]→[ライセンス関連・ドキュメント]にある、「ライセンス更新ツール(Rustool)」をダウンロード

2. Rustoolのインストール

1. で取得したインストーラーを用いてRustoolをインストールします。インストール方法、ライセンスの有効化手順につきましては、次スライドにも概要を記載しておりますが、詳細については [ユーザサポート]→[ダウンロード]→[ライセンス関連・ドキュメント]にある、「ライセンス更新ツール(Rustool)の使用法」の資料もご参照ください。

ライセンス関連・ドキュメント

ライセンスに関連するツール・ドキュメントです。

ライセンス更新ツール

試用版でのc2vファイル取得に利用するツール(Rustool)とその使用方法についてのマニュアルです。

[ライセンス更新ツール\(Rustool\)](#) (ZIP: 29MB 32bit版・64bit版共通)

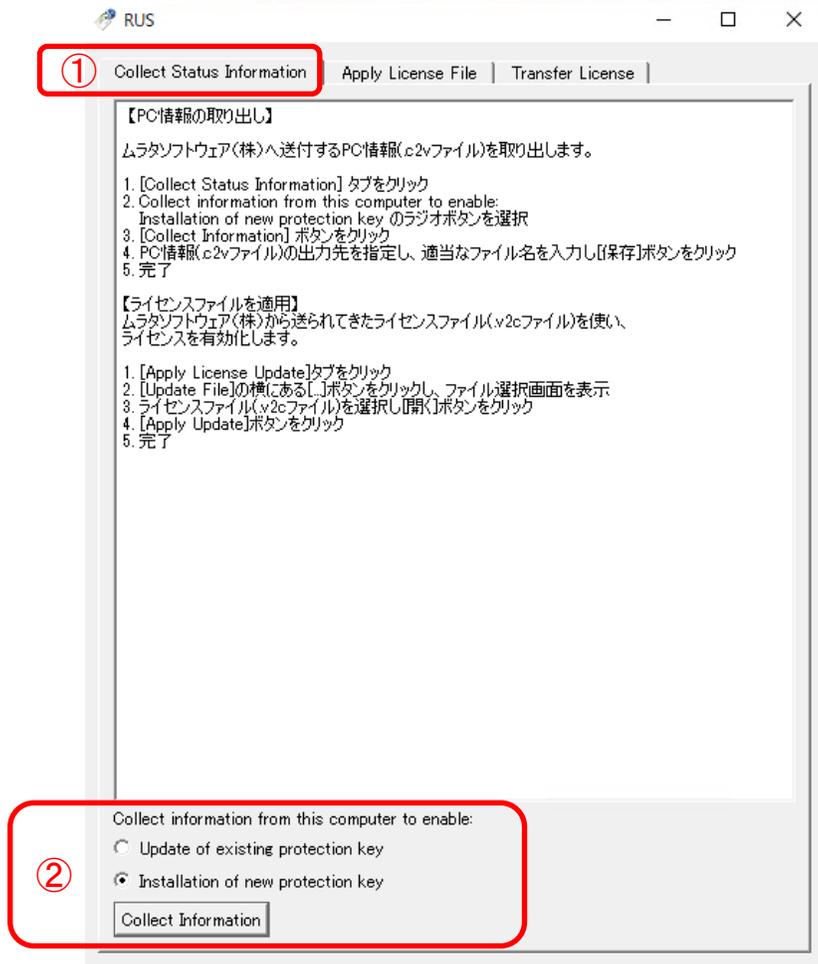
[ライセンス更新ツール\(Rustool\)の使用法](#) (PDF: 662KB)

Rustoolインストール時の注意点

- 管理者権限 (Administrators) のあるユーザーでのみ可能です。
- 管理者権限がない場合は、ユーザーを切り替えるか新たに作成して、インストールを行なってください。
- Rustoolのインストールには10MBのH Dの空き容量が必要です。
- Sentinel LDKを利用しているソフトウェアがサーバにインストールされている場合、Sentinel LDKをインストールする前にプロセスを終了しておく必要があります (詳しくは、トラブルシューティング「6-1. Rustoolがインストールできない」をご覧ください)。

C2Vファイルの取得

管理者権限のあるユーザーでRustoolを起動し下の①Collect Status Information②Collect Informationを順番にクリックしC2Vファイルを取得し、ムラタソフトウェアへ送付してください。



②で新規にライセンスをインストールする場合はInstallation of new protection keyを選択します。

C2Vファイルとは、ライセンスをインストールするPC情報を記録したファイルです。このファイルを用いて、ムラタソフトウェアでV2Cファイルを作成します。

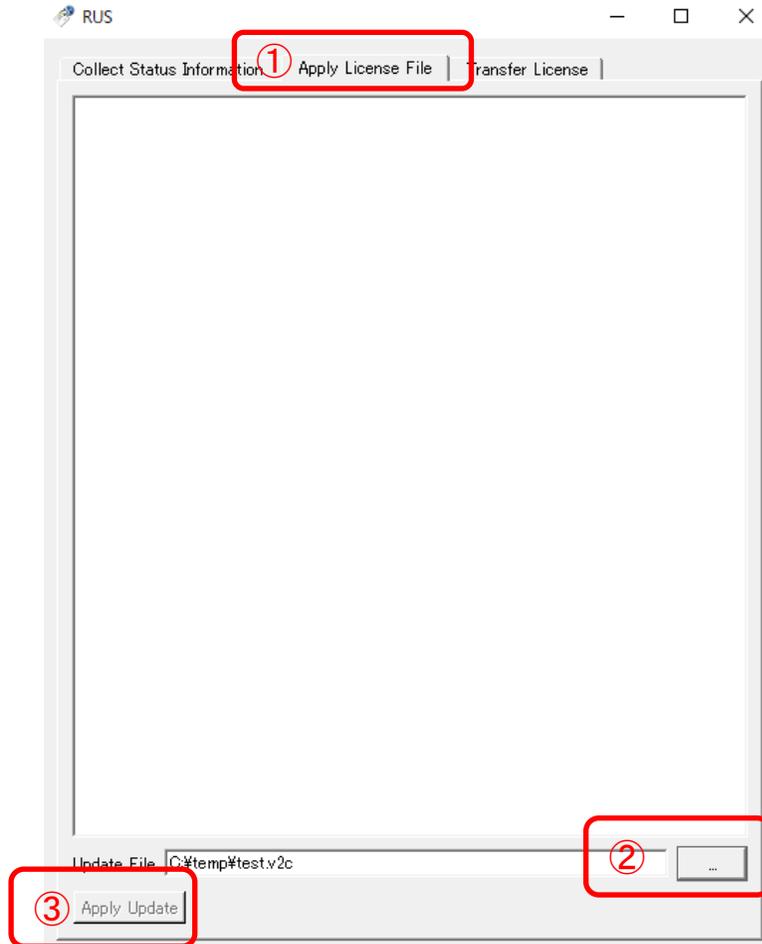
C2Vファイル名に半角英数以外の文字（ひらがな、かたかな、漢字など）を使用しないでください。

5営業日以内にムラタソフトウェアから、V2Cファイルがメールで届きます。しばらくお待ちください。

2. ライセンスのインストール

V2Cファイルの適用

Rustoolを起動し、①Apply License File ②ファイル参照ボタンを順番にクリックしV2Cファイルを選択して③Apply Updateで適用します。



V2Cファイルの適用が成功するとその旨が英語で表示されます。
これでライセンスのインストールは完了です。

注意点：

V2CファイルはC2Vファイルを取得したPCでのみ適用可能です。
サーバー利用時のクライアントPCには適用できません。

3. Femtetのインストール

ムラタソフトウェアよりV2Cファイルと共に以下の文面の案内メールが届きますので、案内に沿ってFemtetをインストールしてください。

Femtet本体のインストーラは以下のURLよりダウンロードできます。
ダウンロード完了後、インストーラをダブルクリックする事でインストールが開始されます。
【インストーラダウンロードURL】
<https://www.muratasoftware.com/support/download/>
ユーザID : *****
パスワード : *****

なおFemtetをインストールするPCは以下になります。

ノードロック利用→ライセンスをインストールしたPCにFemtetをインストール
サーバー利用→クライアントPCにFemtetをインストール

4. ライセンス参照設定（サーバー利用の場合）

【サーバ利用の場合の設定】

クライアントPCからサーバPCのライセンスにアクセスするための設定を行います。

- Windowsの「スタート」-「すべてのプログラム」
- 「Femtet VerXXX xxbit」-「ツール」
- 「**ライセンス参照設定ツール**」を右クリックで「管理者として実行」する

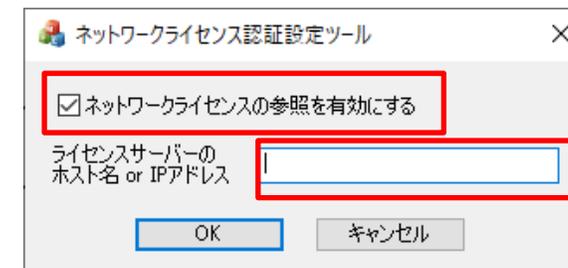
「ネットワークライセンス認証設定ツール」ダイアログにて

「ネットワークライセンスの参照を有効にする」

にチェックをいれて、サーバPC名またはIPアドレスを入力してください。



※本設定は、クライアントPC毎に管理者権限のあるユーザーでログインし、設定していただく必要がございます。



4. ライセンス参照設定 (サーバー利用の場合)

【サーバー利用の場合の設定】

クライアントPCで、サーバーPCのIPアドレスを直接指定します。

クライアントPCで <http://localhost:1947/> にアクセス

① Configurationをクリック

② Access to Remote License Managers タブをクリック

③ Allow Access to Remote Licenses → ON

Broadcast Search for Remote Licenses → OFF

Remote License Search Parameters

にサーバPCのサーバ名 (もしくはIPアドレス) を設定

(例1 home7406、例2 1192.64.20.1)

④ Submitボタンをクリック

Sentinel Admin Control Center

Configuration Host Name: m6deer

Basic Settings Users **② Access to Remote License Managers** Access from Remote

③ Allow Access to Remote Licenses ? You may experience a delay of a few mi

Broadcast Search for Remote Licenses ?

Remote License Search Parameters

④ Submit Cancel Set Defaults

① Configuration

5. ライセンス認証の確認

【ロードロック利用の場合】

ライセンスをインストールしたPCで <http://localhost:1947/> にアクセス

① Sentinel Keys

Location	Vendor	Key ID	Key Type	Configuration	Version	Sessions	Actions
Local	110950 (110950)	582101464136469553	HASP SL AdminMode		8.21		Products Features Sessions Certificates C2V

Location : Local

Vender : ムラタソフトウェアのベンダーID(110950)

KeyID : ライセンスキーのID



ライセンス詳細情報
→次スライド参照

5. ライセンス認証の確認

【ロードロック利用の場合】

Feature : 基本パック、各種オプションの情報

Logins : 使用中のFemtetの本数

Concurrency : 利用できるライセンスの本数

Restrictions : 利用期限 (世界標準時表記)



ご購入のライセンス内容となっているか
をご確認ください

Sentinel Admin Control Center

Features Host Name: m6swan

Filter by: Key: 582101464136469553 | Vendor:

Product	Feature	Location	Access	Counting	Logins	Concurrency	Detached	Restrictions
2 Femtet	5 Femtet Advanced Magnetic Solver	Local	Loc Net Display	Process		4		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59
2 Femtet	200 CAD Data Translator	Local	Loc Net Display	Process		1		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59
2 Femtet	7 Femtet Advanced Electromagnetic	Local	Loc Net Display	Process		4		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59
2 Femtet	6 Femtet Thermal Fluid	Local	Loc Net Display	Process		4		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59
2 Femtet	4 Femtet Advanced Magnetic	Local	Loc Net Display	Process		4		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59
2 Femtet	3 Femtet Advanced Mechanical	Local	Loc Net Display	Process		4		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59
2 Femtet	2 Femtet Accelerator	Local	Loc Net Display	Process		4		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59
2 Femtet	1 Femtet Basic	Local	Loc Net Display	Process		4		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59

5. ライセンス認証の確認

【サーバー利用の場合】

クライアントPCで <http://localhost:1947/> にアクセスし、以下のように表示されていればライセンス認証できています。

① Sentinel Keys

Sentinel Admin Control Center

Sentinel Keys Host Name: m6deer

Location	Vendor	Key ID	Key Type	Configuration	Version	Sessions	Actions
m6swan	110950 (110950)	582101464136469553	HASP SL AdminMode		8.21	6	<input type="checkbox"/> Browse Net Features

Location : サーバPC名
Vender : ムラタソフトウェアのベンダーID(110950)
KeyID : ライセンスキーのID

↑
ライセンス詳細情報
→次スライド参照

※ライセンス認証が確認できない場合はトラブルシューティング6-3「ライセンスが認証できない」を参照ください

5. ライセンス認証の確認

【サーバー利用の場合】

Feature : 基本パック、各種オプションの情報
Logins : 使用中のFemtetの本数
Concurrency : 利用できるライセンスの本数
Restrictions : 利用期限 (世界標準時表記)



ご購入のライセンス内容となっているか
をご確認ください

Sentinel Admin Control Center

Net Features of Key 582101464136469553 (Vendor: 110950) at m6swan

Filter by: Key: 582101464136469553 | Vendor:

Product	Feature	Location	Access	Counting	Logins	Concurrency	Detached	Restrictions	Sessions
2 Femtet	5 Femtet Advanced Magnetic Solver	m6swan	Loc Net Display	Process		4		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59	
2 Femtet	200 CAD Data Translator	m6swan	Loc Net Display	Process		1		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59	
2 Femtet	7 Femtet Advanced Electromagnetic	m6swan	Loc Net Display	Process	1	4		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59	1
2 Femtet	6 Femtet Thermal Fluid	m6swan	Loc Net Display	Process	1	4		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59	1
2 Femtet	4 Femtet Advanced Magnetic	m6swan	Loc Net Display	Process	1	4		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59	1
2 Femtet	3 Femtet Advanced Mechanical	m6swan	Loc Net Display	Process	1	4		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59	1
2 Femtet	2 Femtet Accelerator	m6swan	Loc Net Display	Process	1	4		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59	1
2 Femtet	1 Femtet Basic	m6swan	Loc Net Display	Process	1	4		Expiration Date Sat Apr 1, 2023 08:59	1

※ライセンス認証が確認できない場合はトラブルシューティング6-3「ライセンスが認証できない」を参照ください

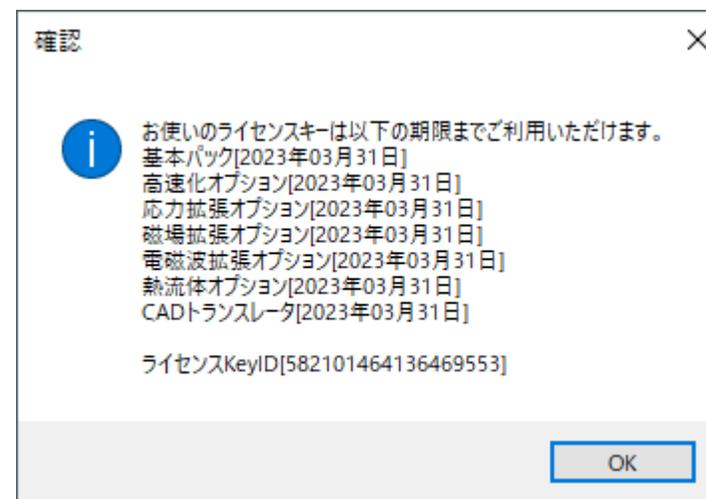
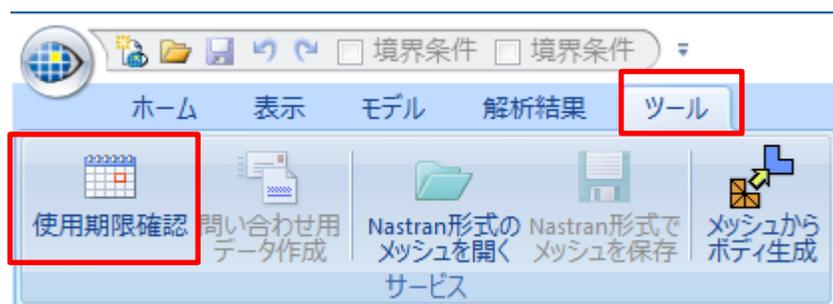
5. ライセンス認証の確認

【ノードロック利用、サーバー利用、共通】

Femtetが起動できるか確認します。

1. Femtetを起動します。ライセンス認証が正常に完了していると、Femtetが起動します。
2. 使用期限を確認します。

[ツール]→[使用期限確認]を選択



日本標準時表記
この日付けの
23時59分まで
利用可能

- 6-1. Femtetを利用するPCを制限
- 6-2. サーバPCへのアクセス制限
- 6-3. 利用するライセンスオプションの選択

6-1. Femtetを利用するPCを制限

【サーバー利用の場合】

サーバーPCで、クライアントPCからのアクセスを制限する

サーバーPCで <http://localhost:1947/> にアクセス

- ① Configuration
- ② Access from Remote Clients
- ③ Access Restrictionsに制限を記述（具体例は次ページ参照）
- ④ Submitボタンを押す

The screenshot shows the Sentinel Admin Control Center interface. The left sidebar has 'Configuration' highlighted with a red box and the number '1'. The main content area is titled 'Configuration Host Name: m6deer'. The 'Access from Remote Clients' tab is selected and highlighted with a red box and the number '2'. Under this tab, the 'Allow Access from Remote Clients' section has three radio button options: 'No one', 'Identifiable clients only. Non-cloud licenses cannot be accessed.', and 'All licenses are accessible without need of identity' (which is selected). A red note below states: 'Note: Regardless of the option selected, remote machines using a client identity cannot access'. Below this are input fields for 'Public Address for Access With Identity and ACC', 'Trusted Client', and 'Public Port for Access With Identity'. The 'Store Identity Secrets' section has two radio button options: 'Plain text' (selected) and 'Encrypted with the storage key provided with Sentinel AdminAPI'. The 'Access Restrictions' section has a text area containing 'allow=all' highlighted with a red box and the number '3'. At the bottom, the 'Submit' button is highlighted with a red box and the number '4'. A 'Show Recent Client Access' link is also visible.

【サーバー利用の場合】

Access Restrictions フィールドにてIPアドレスの範囲を設定:

例:

allow=10.24.2.*

allow=192.168.*

allow=193.*

allow=10.1.1.10-20

deny=all

(参考)

Access Restrictions Defines the restrictions that will be imposed on remote machines accessing this Sentinel License Manager. Enter data in the following format:

`allow=[item]` and/or `deny=[item]`, where *item* is an IP address or machine name. IP addresses can include "*" or a range of addresses allow or deny multiple addresses. The value of *item* can also be `all` or `none`. Each entry must be on a separate line. The entries are evaluated in the order in which they are specified.

For example, *item* can be:

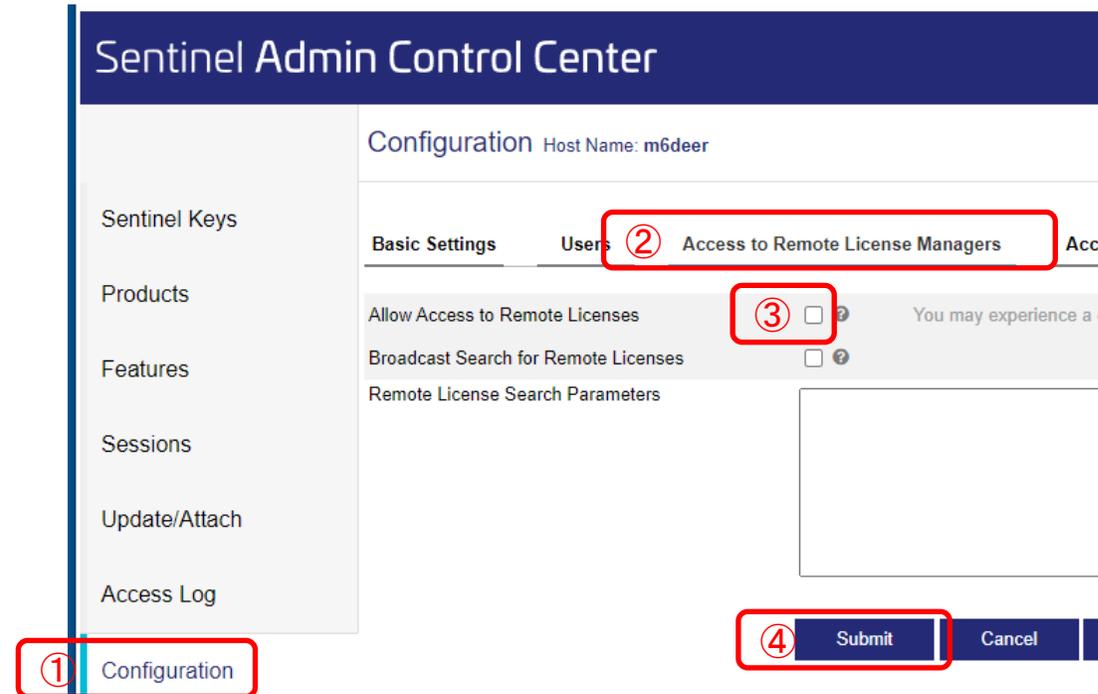
10.24.2.18	a single address
10.24.2.10-50	range of addresses (only 4th number may be a range)
10.24.2.*	class C subnet
10.24.*.*	class B subnet
10.*.*.*	class A subnet
10.24.2.0/24	subnet, number of mask bits specified

【サーバ利用の場合】

クライアントPCからライセンスサーバを見に行かない設定

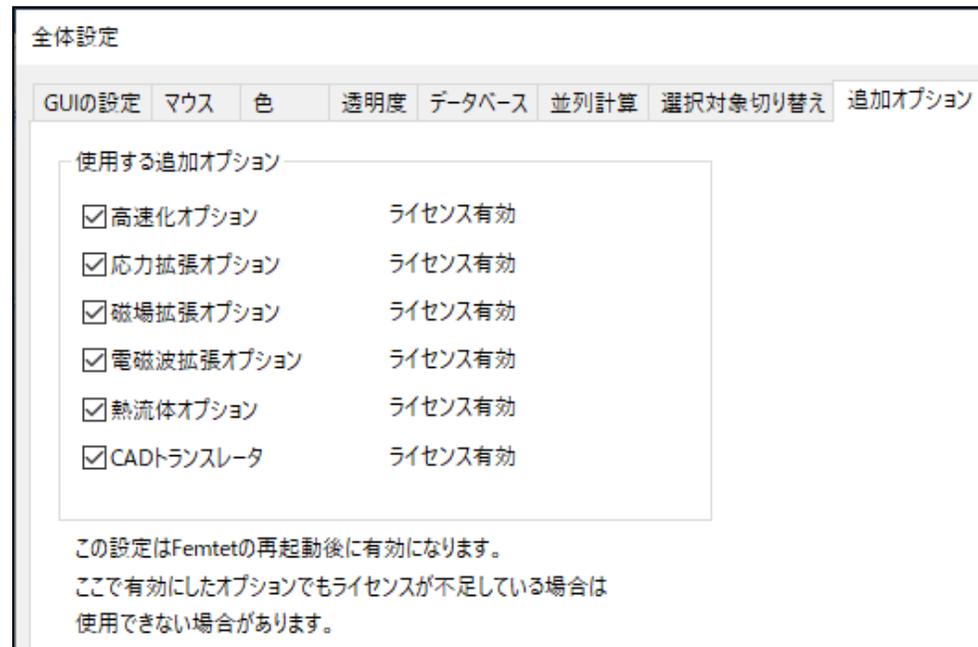
クライアントPCで <http://localhost:1947/> にアクセス

- ① Configurationを選択
- ② Access to Remote License Managersを選択
- ③ Allow Access to Remote Licensesのチェックを外す
- ④ Submitボタンを押す



【サーバー利用の場合】

- Femtetの「アプリケーションメニュー」  →「全体設定」→「使用する追加オプション」にて使用するオプションを選択または選択解除できます。
- 選択されているライセンスオプションはその機能を使用していなくてもFemtet起動時に消費されてしまいますので、他のクライアントPCのFemtetで利用するライセンスオプションが有る場合は選択解除しておくといいです。
- CADトランスレータオプションのライセンスだけはインポート/エクスポートの際だけライセンス認証します。



7-1. Rustoolがインストールできない

7-2. Femtetが起動できない

7-3. ライセンスが認識できない

7-1. Rustoolがインストールできない

サーバ用PCへライセンス更新ツール（Rustool）をインストールする場合、前もって他のHASP/Sentinel LDKツールを使ったアプリケーションのプロセスを停止させておく必要があります。

1. 管理者権限（Administrator）でログイン
2. Windows[スタート]メニューから
[コントロールパネル]→[管理ツール]→[サービス]
サービスメニューから他のHASP製品のプロセスを停止する
3. Rustoolをインストール
4. PCを再起動
5. 停止していた他のHASP/Sentinel LDK製品のプロセスを開始する

(注)

停止するサービス名はアプリケーションにより様々です。停止するサービス名が分からない場合は弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

7-2. Femtetが起動できない

① Rustoolの確認(サーバPC)

弊社から送付した、v2cファイルをRustoolでUpdate済みであるかをご確認ください。

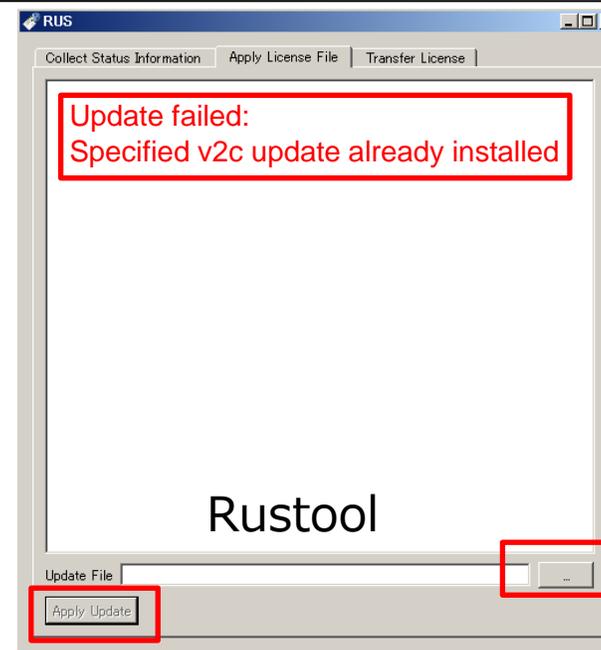
② ネットワークライセンス設定の確認

ネットワークライセンス認証設定ツールが有効になっているかご確認ください。

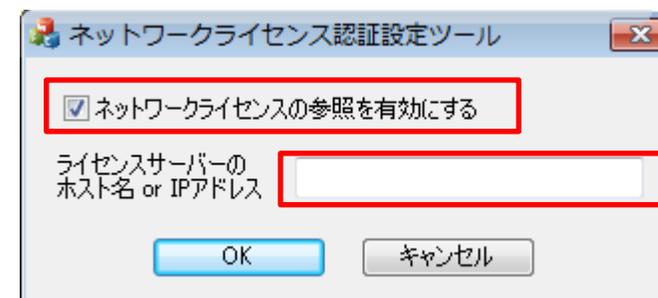
(設定方法は、本マニュアルP. 10を参照ください。)

③ サーバPCとクライアントPCのルート間でポート1947がブロックされていないか確認

ライセンス認証処理でポート1947を使用するため、ルータやセキュリティツールでポート1947がブロックされている場合はブロックを解除（開放）してください。



このボタンをクリックして
v2cファイルを指定
→Apply Update
→Update済みの場
合は左のメッセージが
出力される



ネットワークライセンス認証設定ツール

7-3. ライセンスが認識できない

【サーバー利用の場合】 サーバPCで以下のポート1947を開く設定作業が必要です。

Windows セキュリティー設定でポート1947の受信規則を追加します。
以下の手順でポート1947のTCP及びUDPの受信規則を追加してください。

- 1.Windows セキュリティを起動
- 2.ファイアウォールとネットワーク保護⇒詳細設定をクリック
- 3.受信の規則⇒新しい規則をクリック
- 4.ポートを選択し次へをクリック

The image shows a sequence of three screenshots from the Windows Security application, illustrating the steps to create a new inbound rule for port 1947. Red boxes and arrows highlight the specific elements being interacted with in each step.

- Step 1:** The Windows Security app is open to the 'Security Overview' page. The 'Windows セキュリティ' title bar is highlighted with a red box. A red arrow points to the search bar with the text 'Windows セキュリティを入力して検索'.
- Step 2:** The 'Firewall and Network Protection' section is selected and highlighted with a red box. A red arrow points to the '詳細設定をクリック' (Click detailed settings) link.
- Step 3:** The 'Inbound Rules' window is shown. The '受信の規則' (Inbound rules) section is highlighted with a red box. A red arrow points to the '新しい規則...' (New rule...) button.
- Step 4:** The 'New Inbound Rule Wizard' is shown. The 'Rule Type' section is highlighted with a red box. The 'Port (O)' radio button is selected and highlighted with a red box.

Windows セキュリティを入力して検索

または

スタートボタンから Windows セキュリティを選択

詳細設定をクリック

7-3. ライセンスが認識できない

【サーバー利用の場合】

5. TCPを選択し、特定のローカルポートに1947を入力し次へをクリック
6. 接続を許可するを選択し次へをクリック
7. もう一度次へをクリック
8. 名前の欄にわかりやすい名前（例：Port1947TCPなど）を入れて完了をクリック
9. 上記の手順を再度繰り返し、5番目でUDPを選択し8番目で別の名前（例：Port1947UDPなど）を付けて完了する

※ルータやその他のセキュリティツール等で、ポート1947の通信をブロックしている場合は、そちらのブロック設定も解除（開放）してください。
※セキュリティの設定が変更できない場合は、貴社情報システム部門にご相談ください

新規の受信の規則ウィザード

プロトコルおよびポート
この規則を適用するプロトコルとポートを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか?

TCP(T)

UDP(U)

すべてのローカルポートと特定のローカルポートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択してください。

すべてのローカルポート(A)

特定のローカルポート(S): 1947

新規の受信の規則ウィザード

操作
規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?

接続を許可する(A)
IPsec を使用して保護された接続と保護:

セキュリティで保護されている場合のみ
IPsec を使用して認証された接続のみをセキュリティ規則ノード内の規則を使用し

新規の受信の規則ウィザード

名前
この規則の名前と説明を指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

名前(N): Port1947TCP

説明 (オプション)(D):

セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール

ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)

ローカル コンピューターのセキュリティ: 受信の規則

- 受信の規則
- 送信の規則
- 接続セキュリティの規則
- 監視

Port1947UDP

Port1947TCP

2023/2現在、
配布しているRustoolインストーラーにはライセンスドライバーVer.8.51のインストーラーが入っています。

ライセンスドライバーVer.8.51がサポート対象とするPCプラットフォームは以下の通りです。

- x86 and x64 versions of the following:
 - > Windows Server 2016
 - > Windows Server 2019
 - > Windows Server IoT 2019
 - > Windows Server 2022
 - > Windows Server IoT 2022
 - > Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC
 - > Windows 10 IoT Enterprise 2021 LTSC
 - > Windows 10 21H2
 - > Windows 11 22H2

https://docs.sentinel.thalesgroup.com/ldk/LDKdocs/RN/ReleaseNotes/130-Supported_Platforms_for_Sentinel.htm